

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 30日

鳥取県知事 様

提出者

住所 鳥取県倉吉市山根 43 番地

氏名 社会医療法人仁厚会

理事長 藤井 一博

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0858-26-1012

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	社会医療法人仁厚会 藤井政雄記念病院
事業場の所在地	鳥取県倉吉市山根 43-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療業
②事業の規模	120床
③従業員数	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	【感染性廃棄物】 病院→処理委託業者→収集運搬→焼却→埋立

（日本産業規格 A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者：事務部長（特別管理産業廃棄物管理責任者講習修了者）
…○廃棄物保管庫の管理 ○廃棄物の処理に関する業務全般
- ・ 排出部門管理責任者：看護部長
…○施設内における管理全般を統括（概ね廃棄物保管庫に出されるまでの範囲） ○各担当者への指示
- ・ 各部署における日常点検：各部署の長
…○部署における医療廃棄物の管理統括
○排出部門管理責任者または特別管理産業廃棄物管理責任者への報告
- ・ 各部署における日常点検：各部署の長が指名する職員（原則：看護職員）
…○医療廃棄物の処理方法を確認 ○「医療廃棄物チェック票」への記録
- ・ 廃棄物処理遂行上の管理責任：庶務担当
…○専用容器の保管 ○医療廃棄物保管庫の管理及び廃棄物の処理

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	67.902 t	t
	(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物とそれ以外の廃棄物の分別		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排出量	50 t	t
	(今後実施する予定の取組) 診療材料のディスポ化、新型コロナウイルス感染症患者の受入により今後増加が予想されるが、可能な限り分別を行い感染性廃棄物の排出削減に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 固形状のもの (45L ・ 80L 段ボール) 、鋭利なもの・液状のもの (20L ・ 50L メディペール) に分別している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現行の取り組みを継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	- t	- t

	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行 った 特別管理産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行 う 特別管理産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		
	特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	67.902 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>マニフェストにより最終処分の確認を徹底している。</p>		

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	全処理委託量	49 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 現行の取り組みを継続する	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	67.902 t
	(今後実施する予定の取組等) 令和5年4月1日より電子マニフェスト導入	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が 50 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④ 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第 6 条の 14 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第 2 条の 4 第 5 号イからハマまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が 50 トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 8 条の 31 の 4 に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。